

平成 19 年度短期大学部環境緑地学科緑化企業実習 実習報告書

短期大学部・環境緑地学科

実習先 葛西臨海公園・鳥類園

実習期間 平成 19 年 12 月 1 日, 12 月 2 日, 12 月 7 日, 12 月 8 日, 12 月 15 日

実習内容 12 月 1 日 (土) 8:50 開店  
9:30 ガイダンス  
10:30 カモ類の個体数調査  
11:20 子供たちと野鳥のガイダンス  
12:00 昼食  
13:30 田んぼの整備  
16:00 閉店  
16:30 反省会  
17:00 解散

12 月 2 日 (日) 8:50 開店  
9:30 ラインセンサス  
12:00 昼食  
13:00 イベントの手伝い (リース作り)  
16:00 閉店  
16:30 反省会  
17:00 解散

12 月 7 日 (日) 8:50 開店  
9:30 ラインセンサス  
12:00 昼食  
13:00 イベントの手伝い (リース作り)  
16:00 閉店  
16:30 反省会  
17:00 解散

12 月 8 (日) 8:50 開店  
9:00 野鳥園の掃除  
10:00 外来種の駆除  
12:00 昼食  
14:00 野鳥ガイドツアー  
16:00 閉店  
16:30 反省会  
17:00 解散

12 月 15 日 (土) 8:50 開店  
9:00 野鳥園の掃除  
10:00 ヨシの除草

12:00	昼食
13:00	田んぼの整備
16:00	閉店
16:30	反省会
17:00	解散

#### 実習効果・感想

今回 5 日間という短い期間であったが、その短期間で大学では教われないものを勉強できた。

それは、自然と人間が触れ合いお互い一体化することである。世の中人間は自然環境に取り組む姿勢を全世界に伝えているが、どうも口だけのパターンばかりであり信頼していなかった。しかし、野鳥園は、人工でつくられた公園なのに、約 100 種類以上の動植物を観察でき、自分たちの力で環境保全活動を行い、また人々に自然を体験させ、どれだけ大切なものなのか、また自然の力がないと生きることができないか、自然と教えてくれる。こんなに素晴らしい場所はないだろうと思った。

また、野鳥園のすごいところは、神奈川や東京ではなかなか見つからない野鳥を観察できることである。例えば、チュウヒやミサゴ、ハヤブサなどの猛禽類、レッドデータブックのリストにあげられる準絶滅危惧種や絶滅危惧種の種類の野鳥である。これだけの種類を観察できる場所は一日観察してもあきないだろう。

野鳥園は年に数回、お客さんと一緒に自然と触れ合い、自然の大切さを知ってもらう為、イベントやガイドツアーを行なう。自分もこの機会に来年もお客さんとして体験に行きたいと思った。それはもっと勉強もしたいからである。

自分は将来、野鳥園のような場所で環境保全活動をしたいと思っている。高校の頃から専門研究部で環境保全活動をしてきて、今までの知識や経験を活かしたいと思っている。現在の世の中、自然というものを知らない子供たちがいる。そんな子供たちに自然の大切さを伝えていき、将来の子供たちも自分と同じ道を歩んでくれることを信じて、この先も自ら環境保全活動に取り組みたいと思っている。その為には今まで以上に知識や経験を必要とする。野鳥園以外にも環境保全活動に取り組んでいる場所を探し、積極的に勉強しに行こうかと思う。この地球を守るのも壊すのも私たち人間である。その中で私は地球を守ることを優先に頑張りたいと思う。